

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 シナジーマーケティング株式会社

コード番号 3859 URL <http://www.synergy-marketing.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷井 等

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 西尾 知一

TEL 06-4797-2300

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,723	9.2	175	1.4	239	26.3	180	121.3
24年12月期第3四半期	2,493	7.0	173	△45.4	189	△38.2	81	△48.8

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 178百万円 (81.3%) 24年12月期第3四半期 98百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	20.08	19.91
24年12月期第3四半期	9.03	8.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	3,916	3,616	91.1	395.46
24年12月期	3,744	3,481	91.8	381.34

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,568百万円 24年12月期 3,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,711	9.0	305	32.1	369	30.3	254	97.8	28.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) SMIA Corporation 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	9,082,400 株	24年12月期	9,053,600 株
-----------	-------------	---------	-------------

- ② 期末自己株式数

25年12月期3Q	59,100 株	24年12月期	40,100 株
-----------	----------	---------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	9,011,601 株	24年12月期3Q	9,051,527 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策と日銀の金融政策を背景とした円高是正・株価上昇傾向を受けて、景況感には改善の動きが見られる一方で、欧州の債務問題やアメリカの財政状況等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社が属するインターネット市場では、インターネット経由で、アプリケーションやプラットフォームを提供するクラウドコンピューティングが、データのセキュアな管理運用を求める企業や、システム関連コストの削減を目指す企業だけではなく、東日本大震災後の事業継続計画の見直しや節電への効果的な対策としても高い注目を集めています。

更に、スマートフォンやiPadに代表されるタブレット型コンピューターが次々に発表されるなど、モバイルコンピューティングが一層の高まりを見せ、国内のスマートフォン普及率も年々増加しています。そのような中、モバイル端末を通じて集めた消費者の行動ログなどをもとにマーケティング予測を行う、ビッグデータ分析に注目が集まっています。

このようなクラウドコンピューティングに対する需要の拡大やビッグデータに対する期待は、当社にとって大きなビジネスチャンスにとらえ、当第3四半期連結累計期間は、新たなクラウドサービスの研究開発と販売力強化のための施策に注力して参りました。

その一環として、Synergy!360やSynergy!といったクラウドサービス群の新機能を強化するとともに、よりセキュアでスピーディに利用頂けるよう基盤の強化も積極的に行いました。

また、1月には、ビッグデータを用いた消費者行動予測サービスの、更なる向上を目的に、クローラー技術に定評のある株式会社マイニングブラウニーと資本・業務提携を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,723,318千円（前年同期比9.2%増）となりました。営業利益は、175,714千円（前年同期比1.4%増）、経常利益は営業外収益に含まれる為替差益38,661千円等により、239,039千円（前年同期比26.3%増）となりました。また、投資有価証券売却益170,846千円を特別利益に、減損損失76,853千円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は180,988千円（前年同期比121.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① クラウドサービス事業

クラウドサービス事業は、「Synergy!360」「Synergy!」「Synergy!LEAD on force.com」「INSIGHTBOX」などのクラウドサービス群の提供を行っており、売上高は1,139,344千円（前年同四半期累計期間1,024,234千円、前年同期比11.2%増）、セグメント利益は187,886千円（前年同四半期累計期間134,240千円、前年同期比40.0%増）となりました。

② エージェント事業

エージェント事業は、当社クラウドサービスを利用している既存顧客に対して、システム開発やメール配信代行、広告代理等の受託業務の提案を行っており、売上高は751,618千円（前年同四半期累計期間729,836千円、前年同期比3.0%増）、セグメント損失は27,642千円（前年同四半期累計期間35,065千円のセグメント利益）となりました。

③ eホールセール事業

eホールセール事業は、連結子会社である株式会社ビーネットがECショップ向けに商品の卸売を行う事業であり、売上高は832,356千円（前年同四半期累計期間739,017千円、前年同期比12.6%増）、セグメント利益は8,438千円（前年同四半期累計期間3,664千円のセグメント損失）となりました。

④ その他

その他は、第1四半期連結会計期間に設立した、連結子会社であるSMIA Corporationの、米国における市場調査事業等の業績を示しております。セグメント損失は296千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて53,179千円増加し、2,174,123千円となりました。これは、有価証券が344,496千円減少したものの、現金及び預金が444,802千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて118,336千円増加し、1,741,887千円となりました。これは、投資有価証券が190,127千円増加し、ソフトウェアが減損などにより60,614千円減少したことなどが要因であります。

この結果、総資産は、3,916,011千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて41,178千円増加し、299,449千円となりました。これは、未払法人税等が44,410千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に計上していた繰延税金負債4,595千円が減少しました。

この結果、負債合計は、299,449千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて134,932千円増加し、3,616,562千円となりました。これは、配当金が45,067千円あったものの、四半期純利益を180,988千円計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月9日公表の業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、米国に新たに設立した海外子会社 SMIA Corporation を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方法に比べて、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,931	1,236,733
受取手形及び売掛金	431,968	412,331
有価証券	746,262	401,766
商品及び製品	32,188	35,205
仕掛品	24,945	14,954
その他	98,928	79,476
貸倒引当金	△5,279	△6,344
流動資産合計	2,120,944	2,174,123
固定資産		
有形固定資産	99,230	106,263
無形固定資産		
のれん	87,952	45,237
ソフトウェア	418,678	358,063
その他	21,469	4,585
無形固定資産合計	528,100	407,887
投資その他の資産		
投資有価証券	902,181	1,092,308
その他	101,635	142,117
貸倒引当金	△7,596	△6,689
投資その他の資産合計	996,220	1,227,736
固定資産合計	1,623,551	1,741,887
資産合計	3,744,495	3,916,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,801	77,513
未払法人税等	50,509	94,919
賞与引当金	15,862	9,750
その他	111,097	117,265
流動負債合計	258,270	299,449
固定負債		
繰延税金負債	4,595	—
固定負債合計	4,595	—
負債合計	262,865	299,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,632	1,162,723
資本剰余金	1,115,808	1,121,899
利益剰余金	1,152,811	1,288,733
自己株式	△20,545	△30,604
株主資本合計	3,404,707	3,542,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,521	17,542
為替換算調整勘定	—	8,027
その他の包括利益累計額合計	32,521	25,570
少数株主持分	44,400	48,240
純資産合計	3,481,629	3,616,562
負債純資産合計	3,744,495	3,916,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,493,088	2,723,318
売上原価	1,277,960	1,455,706
売上総利益	1,215,128	1,267,612
販売費及び一般管理費	1,041,784	1,091,898
営業利益	173,343	175,714
営業外収益		
受取利息	3,386	17,170
受取配当金	8,995	7,304
為替差益	—	38,661
その他	3,822	1,092
営業外収益合計	16,203	64,229
営業外費用		
支払利息	224	—
自己株式取得費用	—	83
支払手数料	—	820
営業外費用合計	224	904
経常利益	189,322	239,039
特別利益		
投資有価証券売却益	6,092	170,846
特別利益合計	6,092	170,846
特別損失		
固定資産除却損	414	2,738
減損損失	20,000	76,853
その他	—	2,000
特別損失合計	20,414	81,592
税金等調整前四半期純利益	175,000	328,293
法人税、住民税及び事業税	91,535	165,145
法人税等調整額	△1,503	△22,148
法人税等合計	90,031	142,996
少数株主損益調整前四半期純利益	84,968	185,296
少数株主利益	3,190	4,307
四半期純利益	81,778	180,988

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,968	185,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,415	△14,979
為替換算調整勘定	—	8,027
その他の包括利益合計	13,415	△6,951
四半期包括利益	98,383	178,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,193	174,037
少数株主に係る四半期包括利益	3,190	4,307

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	クラウドサー ビス事業	エージェン ト事業	eホールセー ル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,024,234	729,836	739,017	2,493,088	-	2,493,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	5,220	-	5,220	△5,220	-
計	1,024,234	735,056	739,017	2,498,308	△5,220	2,493,088
セグメント利益又は損失(△)	134,240	35,065	△3,664	165,641	7,702	173,343

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額7,702千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「クラウドサービス事業」セグメントの一部ソフトウェアについて、当初想定していた収益が見込めなくなったため、当第3四半期連結累計期間において固定資産の減損損失20,000千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	クラウドサー ビス事業	エージェン ト事業	eホールセー ル事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,139,344	751,618	832,356	2,723,318	-	2,723,318	-	2,723,318
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	1,827	8	1,836	5,608	7,445	△7,445	-
計	1,139,344	753,446	832,364	2,725,155	5,608	2,730,763	△7,445	2,723,318
セグメント利益 又は損失(△)	187,886	△27,642	8,438	168,683	△296	168,386	7,327	175,714

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国における市場調査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7,327千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、米国にSMIA Corporationを新たに設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

クラウドサービス事業において、当社が開発を行ったソフトウェアについて、収支計画の見直しを行った結果、63,326千円の減損損失を計上しております。また、報告セグメントに帰属しない全社資産において、過去に開発した請求業務支援システムの利用を見合わせたため、13,526千円の減損損失を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。